

栃木市スポーツ施設ストック適正化計画に係る パブリックコメントでの意見に対する回答

1 実施期間

令和2年12月21日（月）～令和3年1月20日（水）〔必着〕

2 寄せられた意見及びその回答

番号	意見	市の考え方
1	栃木市剣道場（武徳殿）について、「伝統があり歴史的建造物である」「剣道の振興・活動拠点である」「全国誌に掲載されるほど有名な建築物である」などの理由により、存続をお願いしたい。（同様の要望意見 全97件）	今回の計画において国のガイドラインに沿って評価したところ、栃木市剣道場（武徳殿）の基本方針（適用手法）は、集約化を図る施設となりましたが、今後、文化的な価値も踏まえ、運営方法等について、利用団体と調整していきます。
2	柳原河川敷運動場について、台風19号により被災したが、復旧工事を実施する際は、敷地の拡幅整備及び内堤防の強化をお願いしたい。（同様の要望意見 他2件）	柳原河川敷運動場は、栃木県が管理する河川の高水敷を栃木市が占用許可を受けて市民に開放している施設です。高水敷とは、常に水が流れている流路よりも一段高い敷地のことで、河川内にあることから、台風等による増水時には冠水することが前提となった部分です。 現在、栃木県が被災した低水護岸部の復旧工事を実施しています。台風等による増水時、内堤防設置により河川内の水や砂利の流下に支障をきたすことから、運動場の高さで低水護岸を復旧すると伺っています。